

本事業における緑被率の算定方法

本事業にて緑被率の維持向上を求めるのは、公募対象公園施設や特定公園施設、利便増進施設の整備により、歴史ある開成山公園等が有する緑の価値を損なうことがあってはならず、むしろその価値を高めること、緑の充実により公園の魅力を高めることを期待する趣旨である。

本事業提案において算出する緑被率は、上記趣旨に則っていることを確認するためのものであることから、申請者の負担を考慮し、以下に示す簡易的な算定方法を用いるものとする。

1 要求水準

本事業で整備する範囲内において、以下を満たすこと。

$$(\text{既存緑被面積} / \text{整備面積}) \times 100 \leq (\text{整備後の設計緑被面積} / \text{整備面積}) \times 100$$

※緑被面積：冬を除き、樹木、花壇、芝等の緑に覆われた面積（樹木の場合は樹冠投影面積）

2 既存緑被面積の算定方法

- ・既存樹木については、次ページに示す航空写真に基づき、緑に覆われた面積を緑被面積として算定すること。（樹高等による基準面積等の設定は不要。）
- ・申請者が「既存緑被面積」「整備面積」とする範囲と面積を図示すること。



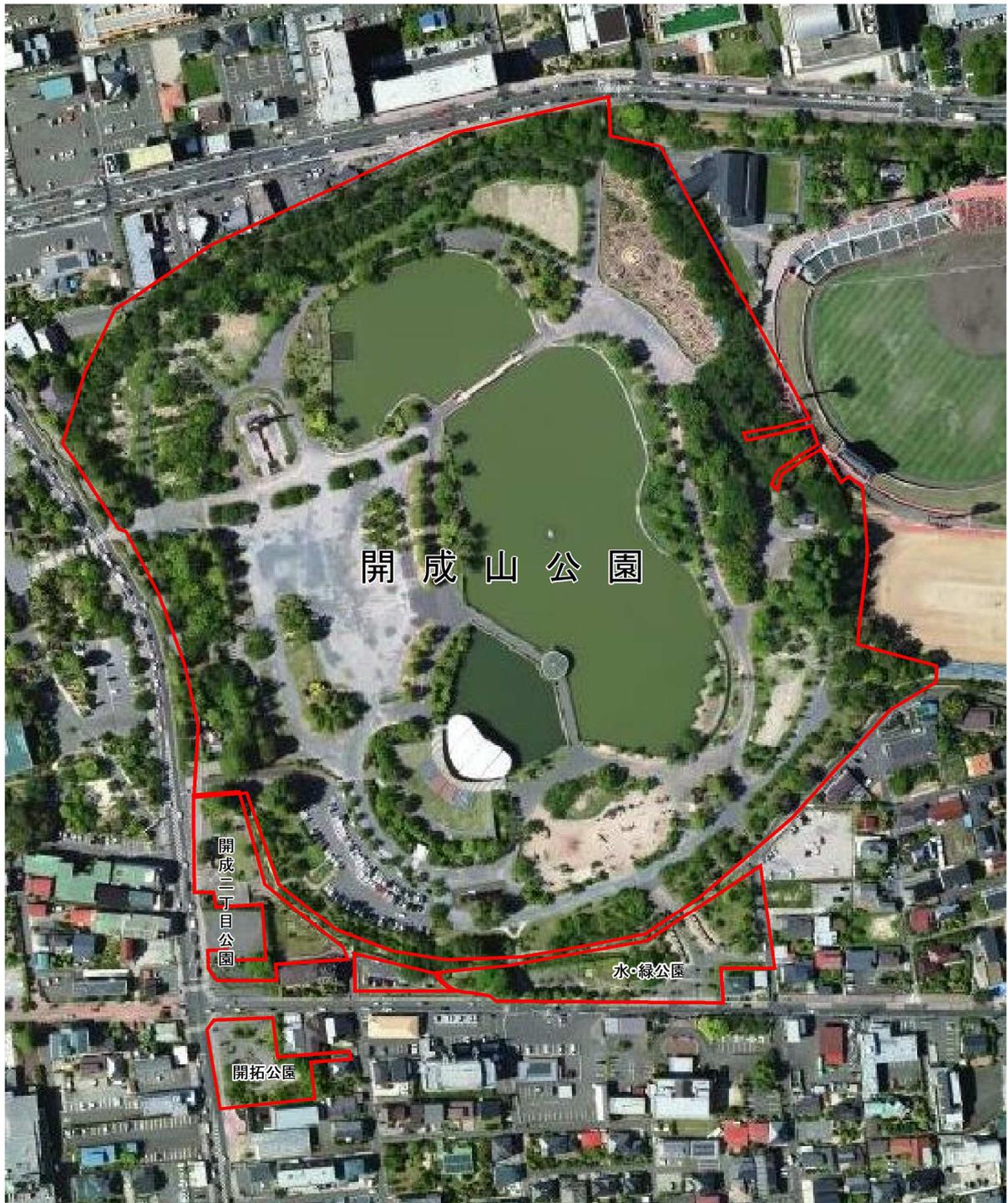
— : 整備面積 ● m²
— : 既存緑被面積 ● m²
緑被面積の図示例

3 設計緑被面積の算定方法

- ・既存緑被面積の算定に用いた「整備面積」と同一の範囲における、整備後の樹木、花壇、芝等の緑に覆われた面積を設計（計画）図面より算定すること。
- ・既存樹木を残す場合は、その緑被面積は2に示した方法で算定すること。
- ・設計緑被面積については、次に示す表に基づき算定すること。なお、高木・中木・低木の別は樹種により設定することとし、植栽時に成木か否かは問わないものとする。

区分		樹冠投影面積・面積
樹木	高木（樹高 4 m 以上）	14 m ² /本
	中木（樹高 2.5 m 以上 4 m 未満）	8 m ² /本
	低木（樹高 1 m 以上 2.5 m 未満）	4 m ² /本
	低木（樹高 1 m 未満）	1 m ² /本
花壇・芝、屋上緑化、その他の地被植物		水平投影面積
生垣等		生垣幅×延長
壁面緑化		—

- ・樹木の下芝や花壇等について、重複して面積計上しないよう注意すること。
- ・申請者が「整備後の設計緑被面積」「整備面積」とする範囲と面積を図示する（樹冠の重なり等が確認できるものとする）こと。また、緑被面積の算定に用いた樹木・花壇・芝等の数量を表に整理すること。



航空写真

(赤枠は概略事業範囲、別にオリジナルデータを提供)